

製品名: CPXM2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09338**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CPXM2
別名	CPXM2; Inactive carboxypeptidase-like protein X2
遺伝子 ID	119587.0
SwissProt ID	Q8N436
免疫原	抗血清はヒト CPXM2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 450-500

背景

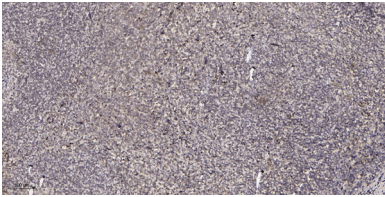
注意: 活性部位残基と亜鉛結合部位を失っているため、触媒活性がある可能性は低いです。機能: 細胞間相互作用に関与している可能性があります。類似性: ペプチダーゼ M14 ファミリーに属します。類似性: 1つの F5/8 タイプ C ドメインを含みます。注意: 活性部位残

基と亜鉛結合部位を失っているため、触媒活性がある可能性は低いです。機能:細胞間相互作用に関与している可能性があります。類似性:ペプチダーゼ M14 ファミリーに属します。類似性:1つの F5/8 タイプ C ドメインを含みます。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。